

# 市長の ふれあい訪問

● 今回の訪問先 ●

## 画家・森 敬介さん

日展入選4回、埼玉県美術展特選3回など著名な美術展での受賞歴がある73歳の現役画家。現在、川口市美術家協会理事などを務め、個展なども精力的に開催している画家の森 敬介さんを岡村市長が訪問。絵を描くことの魅力などをお聞きしました。



**市長** みなさんこんにちは。いよいよ6月に入りましたので、私もネクタイをはずしてクールビズにしました。今月の市長のふれあい訪問は、飯塚にお住まいの画家の森敬介さんです。どうぞよろしく願いいたします。森さんが絵を描き始めたのは、いつからですか。

**森** 小さいころから絵を描くのは好きでしたが、油絵を始めたのは大学に入学してからです。入学した時に、母親が油絵の道具一式をプレゼントしてくれました。当時の道具は高価で、家計も大変だったにもかかわらずプレゼントしてくれ、本当にうれしかったですね。

**市長** 本格的に画家を目指したのはいつごろですか。

**森** 大学卒業後は、家業の鋳物工場で働いていましたので、絵を描くゆとりはありませんでした。しかし、30歳になったころから生活にも余裕ができて、そのころから本格的に取り組みようになりました。真剣に取り組み



ことで、苦勞も忘れられず、ストレス解消にもなります。

**市長** 真剣に取り組みできたことが認められ、数々の賞を受けたのだですね。

今まで、絵が思うように描けなくて、壁にぶつかっていたことなどは無いのですか。

**森** 壁にぶつかるとは今でもありません。しかし、油絵の良さは、失敗しても塗り直しができ、色合いが気に入らなければ、その色をナイフで削ることもできますので、キャンバスに向かい、好きなように、思いっきり描けます。

**市長** 一水会の会員にもなら

て、会員になるための登竜門とも言われている、安井曾太郎奨励賞も受賞されましたよね。

**森** 奨励賞を受賞したのは6年前です。その1年後に一水会展で2回目の特選を受賞できた時は感激したと同時に、「これで画家としていける」という自信ができました。

**市長** 今までは、鋳物工場の社長として活躍され、画家としても活動し正に、二足のわらじをお履きになっていましたが、現在は、画家一筋で活動されているわけですね。

ところで今月、個展を開催されるそうですね。

**森** はい。16日から1週間、リリアで行います。今回は、日展と一水会展に出品した100号の大作以外は、未発表の作品を展示します。

**市長** 好きなモチーフは、やはり風景画なのですか。

**森** ええ、自然には無限の魅力があります。自然に浸り自然に囲まれて風景画を描ける喜びをキャンバスに写せたらと思っています。

**市長** 絵を描き続けてきて、良かったと思うことはどんなことですか。

て、会員になるための登竜門とも言われている、安井曾太郎奨励賞も受賞されましたよね。

**森** 奨励賞を受賞したのは6年前です。その1年後に一水会展で2回目の特選を受賞できた時は感激したと同時に、「これで画家としていける」という自信ができました。

**市長** 今までは、鋳物工場の社長として活躍され、画家としても活動し正に、二足のわらじをお履きになっていましたが、現在は、画家一筋で活動されているわけですね。

ところで今月、個展を開催されるそうですね。

**森** はい。16日から1週間、リリアで行います。今回は、日展と一水会展に出品した100号の大作以外は、未発表の作品を展示します。

**市長** 好きなモチーフは、やはり風景画なのですか。

**森** ええ、自然には無限の魅力があります。自然に浸り自然に囲まれて風景画を描ける喜びをキャンバスに写せたらと思っています。

**市長** 絵を描き続けてきて、良かったと思うことはどんなことですか。

**森** 私も73歳になり、高齢者といわれる歳になりましたが、絵を描くことで、毎日張り合いのある日々を過ごしていますので、病気知らずです。また、写生するために、いろいろな場所に出かけますので、その地域の文化や考え方を吸収することで、視野が広がったと思っています。

**市長** 絵をとおして、人間関係や地域との交流などの幅も広がりますね。最後に今後の抱負をお聞かせください。

**森** 川口生まれの川口育ちですので、この川口に愛郷心を持っています。これからも、絵をとおして、川口のお役に立てればと思っています。

**市長** これからも川口の文化向上・発展にご協力をお願いいたします。今日はありがとうございました。

